

## 運営推進会議における評価【令和6年度】

### 【事業所概要】

法人名	社会医療法人社団三思会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐも
所在地	神奈川県厚木市戸室1丁目29番1号		

### 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

医療・介護・福祉全体の関りを必要とする方が、住み慣れた地域・ご自宅での生活を継続できるよう、「訪問看護」・「訪問介護」・「通い」・「泊り」の4つの居宅サービスを事業所専任の介護支援専門員が、利用者・家族の意見を聴取したうえで「包括的」に組み合わせ、「なじみの職員」が一体的に提供する。

訪問看護ステーションもみじと一体型の運営をしており、24時間の緊急時対応や医療ケアの必要な方、在宅看取り等さまざまな心身状況の方への対応が可能。また、登録者以外のご利用者や障がいがある方の受け入れ、医療保険対応の訪問看護も実施している。

訪問看護・訪問介護の積極的な実施により、利用者や家族との関りの中で希望や意見を情報共有し、ご自宅での24時間の生活を想定したサービス提供の充実を目指している。

職員は、認知症ケア実践者研修などにも計画的に参加し、認知症がある方の対応が可能である。

事業所は、介護職の特定行為が実施可能な認可を受けている。さらに、摂食嚥下訓練に特化した看護師の指導の下、摂食嚥下訓練、特別食対応も行う事が出来る。

ご利用者の生活視点でケアプランや看護・介護計画、手順書を作成し、多職種で行う総合マネジメントカンファレンスをベースとした評価・修正をこまめに行っており、個別性を踏まえた看護・介護を実践している

### 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価実施日	令和6年11月12日	従業者自己評価実施人数	16人 ※管理者を含む
------------	------------	-------------	-------------

### 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日令和 7年 1月 23日	出席者人数	(合計)	10 人	※自事業所職員を含む	
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業職員 ( 4人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民代表 ( 2人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 1人)	<input type="checkbox"/> 市町村職員 ( 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者および利用者家族 ( 2人) <input type="checkbox"/> その他 ( 人)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1人)		

■ 評価の結果「できている」と感じた点や、日頃から特に力を入れている点

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所として、地域に生きる方々の必要なサービスを提供できている。
- ・状況に応じて柔軟なサービス提供を行える体制が整ってきている。状況変化に対応できる様にカンファレンスを行い支援計画に反映している。
- ・多職種との連携や定期的カンファレンスを行い随時最適の介護を行っている
- ・ご家族の支援や看取り。利用者様が単身者の場合の生活支援など事細かに行っている。
- ・ご家族のレスパイト、嚥下機能訓練実施している。
- ・心身の変化に気を配り安心して利用できるような環境づくり。
- ・皆が業務改善の取り組み、ケアプランに基づいた支援計画の作成と定期的な評価と修正を行っている。
- ・ご家族様ご利用者様の声を聴き、希望に応じた訪問回数、宿泊を受け入れている。

■ 評価の結果、「できていない」と感じた点と、改善に向けた取組案

- ・リハビリを含めた個別ケア、利用者様がぼんやり座っていることがある。利用者の人数が増えうまく回せていないときがあるので支援計画・多職種との連携を図り改善していきたい。
- ・個別ケアの取り組みを日常支援に取り組んでいくのか積極的に考えていきたい。
- ・利用者様の人数に対応できていない日がある。
- ・個別支援への取り組みと実践、職種間で漏れのない情報共有を行う。
- ・全体的に個別ケアが行えていない日があることに対して職員ができていないと多く感じている、その為これから改善していく為に一同が同じ方向を向き、情報共有、カンファレンスを行いしっかりと改善していきたい。

■ 評価表 [従業者等→事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	<p>○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている</p>	8	7	1	0	<p>・ 基本理念にもとづいて活動されていると思います。地域交流にも取り組み、参加した方から「とてもよかった」との声を聞いています。</p> <p>・ 7つの支援方針に沿ったきめ細やかな活動を行うことが示されており、良くできていると思います。</p> <p>・ 利用者と家族の生活をまるごと支えていただいている実感があります</p> <p>・ 基本理念の支援方針のうち③④⑤の内容が理念内に具体的に盛り込まれていないと思念する。</p> <p>「家族・地域社会と「ふれあい」「つながり」できる」「スタッフ一人一人が自己研鑽し、楽しく元気に働く職場」とあるが、サービスでは無く事業所の考えなのでは無いか？又、自己評価に出来ていると回答されている方が多いが、理念や方針をほぼ達成しているのであれば更なる高理念と方針を思案した方が良いと思案する。</p> <p>・ 理念に沿った活動がなされており努力が見られます。</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
2	○サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	4	9	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前向きに取り組まれていると思います。</li> <li>・支援計画に基づき実践されることが求められており、職員の自己研鑽が計画的に進められていると思います。</li> <li>・介護度の高い利用者が多い中、職員の皆さんは丁寧に取り組んでいると思います。</li> <li>・育成計画書を拝見していないため書面内容意見を述べる事は不可。しかしながら、認知症介護実践者講習および喀痰吸引講習を少人数ずつ受講し進めているため今後も引き続き看護小規模多機能居宅介護勤務に必要である自己研鑽は頑張ってください。</li> <li>・職員が増えるにあたり、今まで以上に教育の場は必要かと思えます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ニーズの高い利用者の受け入れ、対応ができています。</li> <li>・生活機能維持の取り組みが弱い。機能低下に気づくことはできているが、理学療法士に助言を仰いだり、通いの場でリハビリメニューなどに取り組めていない。</li> <li>・人員配置の問題で、個別リハビリなど取り組めないことが多い。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				事業所自己評価	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
		3	9	4	0		
3	○職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・育成マニュアルはあるが、うまく活かしていない。 ・訪問介護など自立ができていない部分がある。 ・利用者の増加、勤務体制の変更などがあり、業務に追われできていない。				・さまざまな研修に積極的に取り組まれています。 ・普段のスキルアップは本人の日頃の意識が大事と思います。 実践の中でいろいろ学んで下さい。 ・長く勤めている職員が多いと感じる。家族としては有難いですが。 ・育成計画書を拝見していないため書面内容意見を述べる事は不可。看護小規模多機能居宅介護は医療ケアが必要な利用者が多いため身体観察や介助技術等、一般の同業種より高度な知識と技術が求められるところではあると思う。訪問介護の技術に関しては利用者を通して回数をこなさなければ得れない内容もあり、業務で多忙であると思うが事業所のペースで各職員の育成に当たって頂ければと思う。 ・研修等を積極的に取り組まれていると思います	✓「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
		7	9	0	0		
4	○法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・必須の内部研修は受講できている。 ・外部研修は参加者が増え、資格取得につながっている。 ・介護職員の胃ろう注入・喀痰吸引の有資格者が増えている。				・外部研修も含め有資格者が増えていると思います。 ・研修体制も計画的に進めて下さい。職員のやる気に繋がります。 ・利用者の状況に対応するために積極的に研修などに取り組まれていると思います。内部研修でさえ実行出来なくなってきた事業所もある中、多忙であっても内部研修を定期的に行っている事はとても素晴らしいと思う。更に認知症介護実践者講習、喀痰吸引研修にも力を注がれているのは看護小規模多機能居宅介護事業所としてとても大切な事だと思う。	✓「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
		3	10	3	0		
5	○介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・担当、他の職員と疑問点などあった際互いに相談しあえている。 ・日常業務で都度コミュニケーションは取れる関係性は築けている ・担当者会議がタイムリーに行えていない。				・細やかな情報共有にこれからも取り組んで欲しいと思います。 ・常に職員同士の情報交換は大事であると思います。 ・家族から見て良くできている。安心感につながります。 ・日々の業務連絡に対する「報連相」は福祉業界では大切な仕事の一環である。現在の情報伝達の方法が媒体のアナログ方式だと紛失や枚数の増加で確認に時間がかかる、自宅や休憩中にも前もって確認出来るICTのデジタルツールの活用をぜひ行って頂き業務を確実に遂行できるようにして頂きたい。	✓「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	3	11	1	1	・地域の情報は良く聞いてもらえています。また、交流する機会が増えてきたと思います。 ・常に共有されていることは伺えますが、実際はなかなか難しいのではないですか。限られた時間の中で集まるのも大変かと思えます。 ・家族の要望は反映されています。地域への貢献も高い。残念ながら運営推進会議に関しては単なる事後報告の場となっていると感じる。事業所に対し意義ある情報を提供出来ていないのが残念で申し訳なく思う。そういう状況下でも共有しようと努力してもらっている事に逆に感謝している。	✓「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
7	○職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	8	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の方が安心して働くことができる環境を整えていって欲しいと思います。</li> <li>・福利厚生がしっかりとなされているようなので大変良いと思います。</li> <li>・職員の人数が増えたようで良かった。</li> <li>・医療行為が必要な利用者の増加に伴い、明らかに業務量が増加し事業所・職員の負担増である様子が感じ取れる。介護度、介助量、利用者数の関係は事業所運営において必要不可欠な問題であるが、現事業所のマンパワーに合った新規利用者の選定も必要かと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に依りて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	11	3	0	<p>・様々な工夫をしながら職員間の情報共有に取り組まれていると思います。</p> <p>・意識を持って取り組んでいられます。メモの取り方など工夫されていると思いますので、これからも続けて行って下さい。</p> <p>・利用者ファイルの書式変更など工夫がわかります。</p> <p>・日々の業務連絡に対する「報連相」は福祉業界では大切な仕事の一環である。現在の情報伝達の方法が媒体のアナログ方式だと紛失や枚数の増加で確認に時間がかかる、自宅や休憩中にも前もって確認出来るICTのデジタルツールの活用をぜひ行って頂き業務を確実に遂行できるようにして行って頂きたい。情報確認は重要な業務内容であるため怠らないで頂きたいところである。</p> <p>・努力されていると思います</p>	<p>✓「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	4	9	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理は充分に行われていると思います。</li> <li>・マニュアルに基づき実行されていることが大事です。事故はそこから外れた時に起こるものです。</li> <li>・コロナ対応など迅速と感じます。</li> <li>・急変時、災害時、BCP等は十分に対策がなされていると思うがマニュアルは拝見した事が無い。</li> <li>火災や地震時発生時にどのような対応を取り利用者を家族の元へ戻すのか等、自分達も被災している事もあるため家族としては把握しておきたいところではある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</li> <li>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	2	10	4	0	<p>・災害時のマニュアル化もされていて対応されていると思います。</p> <p>・マニュアルに基づき行うことは当然ではありますが、普段のイメージトレーニングも取り入れて見れば、いざという時に役立つのではないかと思います。</p> <p>・災害時、家族としてはどのような対応をとればよいのか確認したい。</p> <p>・事業所開設以降に震災や異常気象もあったためマニュアル等は作成されていると思われる。追加として事業所＝一時的避難所となる介護事業所が殆どなため、行政・自治会との非難状況や人数等の相互伝達の方法等も確立しておく必要があると推測する。又、発生時にどのような対応を取り利用者を家族の元へ戻すのか等、自分達も被災している事もあるため家族としては把握しておきたいところではある。</p>	<p>✓「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	6	9	1	0	<p>・家族の連絡ノートなどで情報が共有されているのでアセスメントされていると思います。</p> <p>・普段から信頼関係を大事にしてください。</p> <p>・家族の状況も十分に理解し対応して頂いている</p> <p>連絡ノートや緊急時訪問看護だけでは利用者・家族の24時間を把握する事はまず不可能と考える。</p> <p>又、居宅サービス計画書第三表の記載内容も簡易的なものであるため把握する事は困難である。本人・家族に協力頂き24時間シートを作成した上で定期的にカンファレンスを行い情報の更新をする事が望ましい。</p> <p>・実行されていると思います</p>	<p>✓「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
12	○介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている	2	10	4	0	<p>・努力されていると思います。</p> <p>・専門職の皆さんは、それぞれの立場で判断が違うでしょうからそこをうまく共有し合って進めてください。</p> <p>・介護職、看護職双方から支えていただいている実感がある。介護支援専門員所有のインタビューシート、アセスメントシート、居宅サービス計画書等を元に各部署にてサービス計画書を作成し、各職種内においてもサービス方法の統一を図るために会議やカンファレンスを行った上で定期的にカンファレンスを実施する事が必要であると思われます。カンファレンスをただするだけでは無く、カンファ後は各職種に変更点やカンファレンス内容を下す伝達を必ず行う事が重要と考えます。</p>	<p>✓「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
		事業所自己評価					
番号	評価項目	よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		評価の視点・評価にあたっての補足
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	3	11	2	0	<p>・支援計画に基づいて取り組まれていると思います。</p> <p>・利用者に寄り添った計画の作成をされていると思います</p> <p>・丁寧に聞き取り、計画を作成して頂いている。</p> <p>・本人・家族の考えを把握した上の計画書の作成となると担当者会議（年1年）が情報収集の場として大事になってくると思います。本人の身体状況の変化によっては不定期に開催し各職種の担当者が参加し意見交換を行う事が大切だと考えます。都度その場で聞く方法となると各職種隔々まで反映されない場合があるためできるだけ公の会議の場で話し合う事が大切であると考えます。</p>	<p>✓「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
14	○利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	11	2	0	<p>・約束されたことを丁寧に対応されていると思います。</p> <p>・現状認識に立って支援計画を作成されていると思います。</p> <p>・心身機能の回復が見られた。非常によくやって頂いている。</p> <p>評価に「利用者毎の支援計画を担当職員が立てることができている」と記載されているが、介護支援専門員や訪問看護が作成している計画書と違うものがあるのであれば拝見する機会が欲しいと思う。又、「できる、できないの差がある」とあるが何をもってできないと結論づけているのかが非常に残念である。自力で出来なくとも介助があれば出来る事も「有する能力」と考えるべきではないだろうか？</p>	<p>・利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
		事業所自己評価					
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	3	12	1	0	<p>・情報共有しながら変化に対応されていると思います。</p> <p>・お互いの情報共有は、普段の人間関係が大事。普段から情報共有が出来ているようですので大丈夫でしょう。</p> <p>・今後の状況変化の予測があれば家族に詳しく伝えて欲しい。今後不安が大きい。</p> <p>・看護、介護、介護支援専門員の三職種で連携は取り合っていて欲しいと思う。利用者・家族の窓口は介護支援専門員である。そしてやはり「状況変化の予測」や「リスク管理」の事業所の支援計画内容利用者・家族もサービスを利用している者として拝見したいところです。</p> <p>・主治医やリハビリスタッフとの情報共有で作成されていると思います。</p>	<p>✓「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践

① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映

番号	評価項目	3	11	2	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
16	○サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時カンファレンスを実施し対応している。</li> <li>・定期的な計画の評価と修正、状態変化時の変更ができています。</li> <li>・対応できている利用者としていない利用者がある。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス等で対応されていると思います。</li> <li>・十分対応されていると思います。</li> <li>・適宜行われていると思う。</li> <li>・カンファレンスは定期・臨時・緊急に応じて三職種で行って頂きたいところある。全利用者にカンファレンスは必須である事から出来ない利用者がある事に対しては早急に改善が必要であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映

番号	評価項目	5	9	2	0	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
17	○通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者状況によって泊り、通い、訪問時間に偏りが見られる。</li> <li>・臨時も含め、柔軟に対応している。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活環境をよく把握されていると思います。</li> <li>・利用者の情報を十分注意深く観察され対応されていると思います。</li> <li>・状況をよく把握してもらっている</li> <li>・医療的ケアが必要である利用者は訪問ケアだけでは生活を維持する事が出来ず、常時身体状況の把握が必要なため通いや泊まりの方が安心して利用する事が出来る。ただ、医療的ケアが必要な利用者は臨時に利用する事は出来ても通常で利用出来ない曜日があるため全てのサービスに対して通常・臨時に利用が可能になって欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
18	○利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカルテなどで多職種との情報が共有されていると思います。</li> <li>・医療機関との連携がしっかりとされており、良い環境にあると思います。</li> <li>・訪問診療の主治医とよく連携されている</li> <li>・通常業務に対して連携は出来ていると思います。しかし、利用時に発生した事故や怪我に対しては管理者から家族に連絡が入るのみで往診医や往診看護師からの様子確認は当日に連絡も無い。様子観察なのか、臨時往診なのか緊急受診が必要かのかの往診医との連携は発見した時点ですぐ連携を取り合って頂きたい。その結果を家族に報告助言をして欲しい。</li> <li>・実行されてると思います</li> </ul>	<p>✓「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供

① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
19	○介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	4	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に共有され対応されていると思います。</li> <li>・十分対応されていると思います。</li> <li>・介護職、看護職双方から支えていただいている実感がある。</li> <li>・業務表等を拝見した事が無いため役割分担が出来ているのかは不明である。後、介護士の医療行為に当たるケアに対してどこまで柔軟・臨機応変を認めているのかも不明であるため情報の共有がなされていても看護に業務量が多く偏っているのでは無いかと推測する。</li> </ul>	<p>✓「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します✓介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
20	○利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	4	10	2	0	<p>・ケアカルテ、カンファレンスで対応されています。</p> <p>・職員の意識が高く普段の情報共有がなされていると思います。</p> <p>・充分情報共有されている。</p> <p>・全利用者に対するカンファレンスは必須である事から最低でも居宅サービス計画書第二表の短期目標（約6か月）前には行われるべきである。カンファレンス内容を元に介護支援専門員が計画書を作成し担当者会議（必要時）が行われるべきであり、</p> <p>・カンファレンス内容は多職種共有だけでなく本人、家族にも担当者会議を通して報告されるべきである。</p>	<p>✓「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>
		事業所自己評価					
番号	評価項目	よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない	運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
21	○看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	7	8	1	0	<p>・専門性が活かされていると思います。</p> <p>・介護職、看護師との意思疎通や連携がなされており、充実した対応が取られている。</p> <p>・介護職、看護職双方から支えていただいている実感がある。</p> <p>・看護師からの都度の指示は当日出勤していた職員（また施設で勤務していた者）のみ伝達されない可能性が高いため全職員に伝達されるツールが必要と思われる。又、ケアカルテを拝見した事は無いが、毎日に読まないカルテであるならばケア内容の変更に対し即座に対応出来ない場合があると懸念する。自宅や休憩中に確認出来るICTのデジタルツールの活用し業務を確実に遂行できるようにして頂きたい。</p>	<p>✓「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>

② 看護職から介護職への情報提供および提案

番号	評価項目	事業所自己評価				事業所自己評価	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

(4) 利用者等との情報及び意識の共有

① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供

22	○サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	7	7	2	0	<p>・丁寧な対応をしてもらえているとのこと。です。</p> <p>・利用者の立場に立って動かれていると思います。</p> <p>・モニタリング等で実施されている</p> <p>・月1回の介護支援専門員によるモニタリングで利用者の大まかな変化は知る事は出来ますが、利用中の様子や小さな表出やADLの変化に関しては利用中でしか知る事が出来ないため他者の記録だけを頼りにするのでは無く、各職員自身が観察し気付く事がとても大切な事だと思います。</p> <p>・努力されてると思います</p>	<p>✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
----	---	---	---	---	---	---	---------------------------------

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明

23	○作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	9	1	0	<p>・丁寧に対応されています。</p> <p>・家族などと十分コミュニケーションがとられており、うまく機能していると思います。</p> <p>・丁寧に説明してもらい理解している。</p> <p>・22と関係するが、各職員がサービス利用中に発見した気付きを逆に上司、介護支援専門員、管理者等に報告・意見をし、月1回のモニタリング時に聞かせて頂けると本人・家族も在宅生活に反映させる事が出来ると思う。</p>	<p>✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
----	--	---	---	---	---	---	---------------------------------

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
24	○利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	7	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明等で丁寧に対応されています。</li> <li>・利用者等との会話を通して理解も介護職としては、重要なことです。</li> <li>・丁寧に説明してもらい理解している。</li> </ul> 訪問看護師により概ね実施されていると思う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での安定した生活を確保するために必要な配慮であり、うまく実施されている。</li> </ul>	✓「利用者等の理解」について、充足度を評価します
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有

25	○利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	6	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の意向を確認しながら取り組まれています。</li> <li>・本人の状況を考え対応指定ことは、重要であり努力されていると思います。</li> <li>・丁寧に家族、利用者の意向を聞いてもらっている</li> <li>・居宅サービス計画書内に記載されている事は介護保険上必要な基本的内容であり、掲載内容だけを行えば良い訳では無いため、ケアプランに記載されていないとしても各職員が利用者によって良いと思えるケア（又は行動、コミュニケーション）も積極的実施していき本人の表出を感じながらより良いケアサービス内容となって欲しい。</li> </ul>	✓「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
----	--	---	---	---	---	---	--------------------------------

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		4	10	2	0		
26	<p>○在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている</p>	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状態変化に合わせてサービス内容追加や変更ができています。</li> <li>・ご家族の意向、ご本人の意向を確認して情報共有している。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況変化に合わせて対応できていると思います。</li> <li>・介護者の立場と環境を理解して利用者に接することも大事な事です。将来の発生し得るであろう事態も予測できると思います。</li> <li>・今後の状況変化の予測があれば家族に詳しく伝えて欲しい。安心につながる</li> <li>・利用者家族は「うちは在宅で看取り」「延命治療はしない」等、一応いざという時の対応は家族・親戚的には考えているが、実際選択を迫られた時、動揺し真逆の考えになる事や混乱する事があるため、利用開始時に聞き取りをした意向に代わり無いか、在宅で見ていて迷っている事等が無いか定期的にインテークを行い共有している情報更新しておく必要があると思う。</li> </ul>	<p>✓「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		9	6	1	0		
27	<p>○終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している</p>	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者、ケアマネ、看護師が行っている。</li> <li>・ご家族への状況説明は記録での情報共有している。</li> <li>・主治医とも連携し、実施できている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族へ丁寧な対応されています。</li> <li>・記録と説明をしっかりと行っていれば、相手に伝わります。</li> <li>・丁寧に取り組まれている様子に安心感を憶えます</li> <li>・終末期に入ると看護小規模居宅介護から居宅介護へ移行する方も居る可能性があるため、単に状況説明だけを行うだけでは無く、終末期に必要なサービスが看護小規模多機能居宅介護で全て行えるのかどうかも利用者、家族に説明する必要はあるのではないかと</li> </ul>	<p>✓「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	5	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院カンファレンス等に対応されています。</li> <li>・在宅介護は、介護者とのコミュニケーションをしっかりと理解し、動いてあげると助かると思います。</li> <li>・非常によく連携されていました。退院後の生活が円滑に進みました</li> <li>・利用中に入院・入所になった事が無いため円滑に行われているか不明。</li> <li>・実行されていると思います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	9	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間対応されていると思います。</li> <li>・忙しい中での関係機関との情報共有は、難しいでしょうが、職員は普段から行っていることですから緊急時に早い体制は取れると思います。</li> <li>訪問診療の主治医とよく連携されている</li> <li>・訪問診療所と訪問看護で多職種連携ツール（MCS）が繋がっているので普段の多職種連携情報共有は上手く行えていると思うが、突発的に夜間帯等で時事があった場合が担当医師や看護師では無く夜間担当や当番制の医師・看護師が対応と思われるため普段本人を診ていない方が対応するかも知れない事に対しても利用者、家族、多職種で連携共有をしておいて欲しいと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	7	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医、医療機関との連携がとれていると思います。</li> <li>・医療と福祉は行ったり来たりの繰り返し。それが取れるのがマザーホームの良いところと思っています。</li> <li>・訪問診療の主治医とよく連携されている</li> <li>・29にもあるが、急変時時事があった場合が担当医師や看護師では無く夜間担当や当番制の医師・看護師が対応となると思われるため普段本人を診ていない方が対応するかも知れない事に対しても利用者、家族、多職種で連携共有をしておいて欲しいと考える。</li> <li>・実行されていると思います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>

【具体的な状況・取組内容】

- ・主治医との連携や協力医療機関との連携をしている
- ・緊急時の支援体制や宿泊追加が可能。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	5	9	2	0	<p>・運営推進会議で情報共有されています。</p> <p>・地域の取り組みは、普段からの挨拶からと思っています。災害時には特に隣、近所の助け合いが大事です。個人情報保護かなかなか踏み込めませんが、出来る範囲で取り組んでください。</p> <p>・定期的に会議が開催され情報交換されている</p> <p>・運営推進会議は正直なところ事業所状況を早口で報告されるだけで、後は委員の各立場の状況報告のみで事業所のための課題に関する意見交換は行った事が無い。又、利用者は厚木市全域から利用しているので事業所の所属地域の状況を報告されてもあまり参考にならない。折角1時間半時間を設定しているのに早々1時間程で終了してしまっている。</p> <p>出来れば事前に話し合いの課題を提出し、課題に対し話し合いを行う場として欲しい。</p>	<p>✓「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓そのような取組をしたくない場合は「全くできていない」</p> <p>✓民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>

【具体的な状況・取組内容】

- ・運営推進会議で出された課題や意見を真摯に受け止めて利用者に反映し努力している。
- ・意見交換が行われている
- ・定期的な運営推進会議を開催、議事録を市へ提出している。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録が届いています。</li> <li>・地道な情報誌の発行など努力されています。</li> <li>・丁寧に議事録作成されている</li> <li>・看護小規模多機能居宅介護というサービス事業所事態を知らない要介護者、家族は厚木に沢山存在していると思われる。厚木市に2件しか存在しない看護小規模多機能居宅介護というサービスを知る事が出来る場所（市役所、厚木内全地域包括センター、病院、診療所等）に仕組みが理解し易いパンフレットを設置すべきである。</li> <li>・ホームページでの情報提供とともに、推進委員には毎回、議事録が届いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>

[具体的な状況・取組内容]

- ・会議議事録を書類として残し、いつでも閲覧できる体制ができています
- ・議事録の回覧および、ホームページ上での情報公開

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
33	○サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	8	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーホームだよりなどで地域にも情報が共有されています。</li> <li>・情報誌等定期的に発行されており、どりよくされているとおもいます。</li> <li>・駄菓子屋の開催など良い企画だった</li> <li>・看護小規模多機能居宅介護の利用者は厚木市全域から利用しているが啓発活動が地域に限定しているところが少し残念である。</li> </ul> <p>マザーホームは複合型施設なため看護小規模多機能居宅介護を知ってもらうには住民がまず利用する事になる可能性の高いサービスとしての説明と紹介を啓発していく必要があると思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>

【具体的な状況・取組内容】

- ・お祭り開催、マザーホームだより配布している。戸室の広場を地域住民へ開放している。
- ・コロナもあり企画自体ができていない。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	7	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊の世代が75歳を迎え、高齢者はますます多くなっています、老人世帯の家が多くなっていますので、積極的に今後とも取り組んでください。</li> <li>・地域に貢献されていると思います</li> <li>・登録内外の要介護者へのサービス提供は十分行われていると把握している。</li> </ul>	<p>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
		事業所自己評価					
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に受け入れる体制ができていると思います。</li> <li>・専門職員の体制が整っています。研修体制も計画的に勤められているようで、良くできていると思います。</li> <li>・地域に貢献されている</li> <li>・看護小規模多機能居宅介護なので看護師が常駐はしているため受入は出来ていると思う。しかしながら医療行為が必要な利用者が多く利用している事業所としては泊まり利用時に有資格者が勤務しているとしていないでは家族として安心の度合いが違う。利用者に関わる全ての職員が喀痰吸引の有資格者になる様一層努力をお願いしたい。</li> <li>・受け入れることができる体制が整っている</li> </ul>	<p>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
		事業所自己評価					
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	3	2	5	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に受け入れる体制ができています。</li> <li>土日の受け入れ態勢にも力を入れてくださると良いと思います。</li> <li>受け入れ体制が整っていることは貴重な施設だと思う。</li> <li>受入体制は十分に可能と推測する。但し、令和6年度、利用者の疾患内容を鑑みるとマンパワー的に受け入れる事が困難である事もあると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	12	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望に応じての対応ができています。</li> <li>今後ますます受け入れについて需要が高まると思います。スタッフの充実に合わせて、今以上に積極的な受け入れを望みます。</li> <li>受け入れ体制が整っていることは貴重な施設だと思う。家族はとても安心します</li> <li>現利用者の看取り支援なのか、新規での看取り支援の受入なのか不明。</li> <li>利用中の要介護者に対する看取り支援は本人・家族にとっても安心要因となるため是非受入を継続して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	11	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解をますます深めていくことも大事だと思います。</li> <li>・職員の皆さんの普段の情報共有から意識の高まりはうまれるもの、各人の果たす役割も明確に理解されていくと思います。</li> <li>・市役所主催の講習会や勉強会の知らせがFAX等で届いたりするので是非全ての職種の方々も自己研鑽の一環として事業所外の研修も利用して欲しいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>

【具体的な状況・取組内容】

- ・地域包括との交流が少なく理解が深まるまでにはいっていない。
- ・これからもっと勉強会、説明会などを行い理解していきたい。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	11	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全域を対象にサービスが行われていると思います。</li> <li>・特定の集合住宅内だけでの展開ではなく、サービス提供を求めている方は、地域以外にもいられます。そのような方へのサービス提供を進めていくには、バランスのとれた体制の中で行えば可能と思っています。今のマザーホームの人材、体制なら可能と思います。頑張ってください。</li> <li>・厚木市にとって必要な事業所と思う</li> <li>・看護小規模多機能居宅介護はつい最近まで厚木市内に1件しか無く、通常のデイサービスやショートステイでは利用不可の事業所も無いため、厚木市に早期から看護小規模多機能居宅介護事業所がある事を誇りに思います。</li> <li>・特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能しています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
	<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市全域を対象にサービスを提供できている。</li> <li>・市内遠方まで提供し、拒否は行っていない。</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	〇介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	3	5	6	2	<p>・地域交流の場を少しずつ増やしていくことができれば良いと思います。</p> <p>・マザーホームとしては、地域の情報収集や取り組みを通して、福祉に携わろうとしている若い研修生などとボランティア組織を考えてみるとか、広報誌等を通じて問いかけてみてはいかがでしょうか。</p> <p>・運営推進会議内で事業所内の問題提起や改善策の相談が出た事が無いので、報告だけ出なく何か事前に問題等を知らせてもらえると運営推進会議が唯意義な意見交換の場とあると思われる。サービス担当者会議は利用者に対する会議の場であり、地域交流は問題提起や改善策を提案する場では無いため勘違いな自己評価コメントがあるのは残念である。</p>	<p>✓「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

〔具体的な状況・取組内容〕

- ・運営推進委員会等で地域の方々からご意見を頂いたり、包括支援会議などで交流している。
- ・サービス担当者会議の実施。
- ・地域交流の際に提起していると思います。
- ・地域との関係性までうまく踏み込めていない部分もある。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
41	○家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	2	10	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会や家族を招いての行事が行われています。気軽に地域の方が立ち寄れる場があればもっと良いと思います。</li> <li>・高齢者が増えていくなかで。一人世帯、二人世帯の家庭も多くなっています。そんな社会状況のなかで、なるべく外に出て活動する場が必要です。地域の中で、一般高齢者の学ぶ講座を開いてみてはどうか。そこから地域の輪が広がるかもしれません。</li> <li>・家族会が行われたのはとても良かった</li> <li>・介助者に対し効果的な介助指導等を行う事は評価に値すると思うが、近隣住民に広場や研修室を貸し体操をする事が介護力の引き出し向上の取り組みと言えるのか不明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>

【具体的な状況・取組内容】

- ・必要に応じて介護指導実施。
- ・近隣住民に戸室の広場や研修室を貸し体操など行っている。
- ・家族会など提案している。

Ⅲ 結果評価					
①計画目標の達成					
番号	評価項目	事業所自己評価		運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
42	○サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1.ほぼすべての利用者について、達成されている	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成されていると思います。</li> <li>・利用者や家族とのコミュニケーションが十分にとられた中での対応に努力されています。</li> <li>・目標に対しADLが向上し達成されている事は素晴らしい事である。一方、サービス内容が適正に提供出来ている＝達成とは言えないので、加齢による目標維持が精一杯で目標未達であっても良い事もあると思う。</li> <li>利用者個人の目標達成に関して利用者人数のために達成できないとのコメントがあるのは視点違いと推測する。</li> <li>・計画目標に向けた取り組みを行っていることは、十分に見てとれます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓「計画目標の達成」について、評価します</li> </ul>
		2.利用者の2/3くらいについて、達成されている	11		
		3.利用者の1/3くらいについて、達成されている	1		
		4.利用者の1/3には満たない	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な支援計画会議等で達成できているか検討し、変更、再計画を行っている。</li> <li>・可能な限り行っていますが、利用者様が増えたのもあり、すべて行えていないと思います。</li> <li>・達成できるよう、職員同士声を掛け合い少しでもできるよう毎日取り組んでいる。</li> </ul>			

②在宅での療養生活の継続に対する安心感

番号	評価項目	事業所自己評価		運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
43	○サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1.ほぼすべての利用者について、達成されている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での取り組みは丁寧に行われていると思います</li> <li>・在宅を希望され、その中でのサービス提供に対して、技術的な面だけでなく、心の面でのサポートもあればより安心感が得られると思います。</li> <li>・非常に安心感を得ています</li> <li>・施設入所をしていたが新型コロナの流行に伴い面会制限が発生したため在宅介護をする事を決め現在がある。本人には高齢で環境の変化をさせてしまい心苦しいが現在の介護サービスや訪問診療、訪問看護で本人の身体状況（褥瘡等）も改善しチームでケアをしている安心感が得ている。</li> <li>・実行されていると思います</li> </ul>	<p>✓在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>
2.利用者の2/3くらいについて、達成されている	9				
3.利用者の1/3くらいについて、達成されている	0				
4.利用者の1/3には満たない	0				
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時の訪問や健康不安は都度対応している。</li> <li>・定期の訪問も行い必要であれば緊急訪問も行っている。</li> <li>・クレームがあった場合速やかにカンファを行い改善出来ている。</li> <li>・不安や心配事の相談がしやすい環境づくりに努めている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価		運営推進会議構成員からのコメント	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1.ほぼすべての利用者について、達成されている	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の気持ちに寄り添い、安心感を得られるように取り組まれています。</li> <li>・利用者、家族の方々の気持ちを考え、寄り添っていられることが、よくわかります。これからも福祉の精神を忘れず、取り組んでください。</li> <li>・職員の看取り経験が多いので、安心してお願いできると思う</li> <li>・現時点では終末期を在宅でと考えているが、実際選択を迫られた時、動揺し真逆の考えになる事や混乱する事があるため、揺れ動く感情に対し連絡をこまめに行い情報を情報共有と更新して頂けると安心できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</li> <li>✓在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</li> <li>✓在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</li> </ul>
		2.利用者の2/3くらいについて、達成されている	6		
		3.利用者の1/3くらいについて、達成されている	0		
		4.利用者の1/3には満たない	1		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での見取りを希望された場合は、看護師と介護職員との連携で安心感を持ってもらえる。</li> <li>・宿泊や通いにてご家族様の心労を溜めない様に支援を行い看取りまで行っている</li> <li>・看取り時の意向の確認を必要時に実施し、安心感を得られたと意見をいただいている。在宅だけではなく事業所での看取りも可能であり、選択肢提示するとで安安心感を得られるよう心掛けている。</li> </ul>			